

# 開校10周年に向けて

青垣小学校 校長だより  
令和8年1月号  
発行責任者 植木政行

## 青垣地域の大きな力 ～新型コロナウイルス感染症拡大の状況における教育活動～

### 【臨時休校】

令和2年2月28日、文部科学省より「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業について（通知）」が発出され、青垣小学校は、3月3日から臨時休校になりました。

3月23日の卒業式は、出席者を卒業生、保護者、教職員としましたが、卒業生は地域の方への感謝の思いを強く持って卒業しました。そして今、「将来人を笑顔にできる仕事をしたい」、「だれかのために役立つ人になりたい」、「地元である行事に参加していきたい」等の思いを胸に、18歳の大きな進路選択をしています。

令和2年度の着任式と始業式は、4月7日に運動場で行いました。子どもたちは、桜の花が舞う中、新しい出会いに胸を躍らせ、すばらしい姿勢で式に臨みました。休校期間中、家庭・地域でしっかりと支えられ、希望を抱いて、前向きに生活している様子が伝わってきました。

4月8日は入学式。9日と10日は、登校後の準備を、1年生学校生活サポーターの皆様が支援してくださいました。コロナ禍であっても、感染症対策を徹底して、地域の方が子どもたちを支えてくださることは、青垣小学校の大きな力になっていました。

10日午後から再度臨時休校期間となり、以後5月31日まで延長されました。



令和元年度卒業生は、今年度18歳に



咲き誇る桜につつまれて令和2年度始業式



ピカピカに輝く1年生



登校後の準備をサポート

### 【学校再開】

5月には、週1回、続いて週2回の2グループに分かれての登校日を設け、段階的に学校再開の準備を進めました。

6月1日に学校再開をしましたが、最初の1週間は、2グループが時間差で登下校する分散登校をしました。

これらの対応は、家庭・地域にご負担をおかけしましたが、スクールバスの停留所では、多くの保護者・地域の方が、子どもたちを見送り、迎えてくださいました。また、徒歩通学の子どもたちといっしょに学校まで歩いて来てくださったり、登下校の様子をあたたく見守ってくださったりしている方も多くおられました。



2グループに分かれての登校日



6月1日：時間差で全員登校

### 【給食開始】

給食の開始は、6月15日でした。保護者の方に感染症対策についてご理解とご協力をいただきました。4つのランチルームは、2つの学年がクラスごとに使い、他の4学年は、それぞれの教室で給食を食べることにしました。

また、向かい合わせではなく、一方向を向いて食べたり、配膳は、食器を自分のトレイに入れていくセルフ方式にしたりと衛生管理に努めました。

給食再開の日の児童の感想を紹介します。



ゆったりと間隔をとって給食

「何か月ぶりだろう。前はいつ食べたんだろう。」と思いました。給食はみんなもわたしも楽しみで、4か月間給食を食べなかったから、わたしはうきうきしながらおぼんを持ってなりました。給食がのると、「急げ。急げ。」と言いました。給食は、えがおが広がる食べ物です。

### 【児童会&PTAあいさつ運動】

令和2年度の児童会は、学校全体にあいさつの輪が広がるように、児童会役員や環境委員会があいさつ運動を行いました。子どもたちは、朝や下校時にくつ箱付近に立ち、通る人に声をかけたり、放送で全校生にあいさつをしたりしました。また、各学年の教室まで行ってあいさつ運動を展開しました。



気持ちのよいあいさつが響く

そして、7月15日は、児童会役員とPTA役員のみなさんが一緒に正門で迎えて、登校してきた子どもたちと、元気いっぱい気持ちのよい「おはようございます」の声を学校に響かせました。コロナ禍においても、あいさつの輪が、学校や通学途中、そして地域のなかで広がっていくように取り組みました。

### 【「読み聞かせボランティア」スタート】

子どもたちがずっと楽しみにしていた『読み聞かせボランティア』は、8月28日にスタートしました。ボランティアの方々の中には飛沫防止ガードを置き、子どもたちは机の配置を変えず、お互いの間隔を保って聴きました。



青垣地域（今出）の昔話

### 【ゲストティーチャーの支援】（写真はすべて令和2年度）

青垣小学校においては、コロナ禍においても、ゲストティーチャーにたくさん学校へ来ていただき、子どもたちが体験や経験を積み上げていきました。

青垣小学校は、まさに「地域とともにある学校」です。新型コロナウイルス感染症の影響で困難な状況を迎えた学校をしっかりと支えてくださいました。

これからも、子どもたちは、地域の方との関わりを通して、ふるさと青垣のすばらしさを発見し、青垣に誇りを持ち、青垣で育つ自分自身の自尊感情を高めていきます。

今後とも、何卒よろしく願いいたします。



丹波布機織り体験



クラブ活動「竹馬」



青垣翁三番叟